



et cetera [えとせとら]

阿部 由美子

ABE YUMIKO

2021年 5月

et ceteraリニューアルオープン

今年で16年目を迎えるカフェ et cetera (えとせとら) が市内北半田にリニューアルオープンした。

玄米、お粥、自家製パンを中心に新鮮野菜をたっぷり使った身体に優しい料理はそのままに。日替わりランチやコーヒー、紅茶、豆乳を使ったカフェメニュー、自家製おやつなど、ほっと一息できる料理と米山が見える居心地の良い空間が広がっている。

店主の阿部さんがカフェを始めようと思ったのは大学時代。東京の自然食レストランでのアルバイトがきっかけだった。そこでは調理からホールまで何でもこなし、いつか自分でやってみたいと思っていた。その後、柏崎に戻り、障がい者福祉施設で働いて資金を貯め、その一歩を踏み出した。

阿部さんが作るえとせとらの料理は、かつて自然食レストランで学んだ味と亡き母から教わった家庭料理、その両方がうまく合わさった料理だ。決め手はかつお節と昆布をそれぞれ使い分け、しっかり取った出汁を使うこと。素材を生かしたシンプルで味わい深いメニューはどこか懐かしく、しみじみと身も心も満たし

てくれる。

柔らかく炊きあげられた「玄米おにぎり」、「お弁当」、数種を盛り合わせた「お惣菜セット」、「ドリンク」もテイクアウト可能。容器を持参すればエコにもつながる。アレルギーにもできる限り配慮し、小盛や刻み、とろみ食にも対応してくれるというのは家族にとってもありがたい。

「柏崎にえとせとらがあってよかった」、「来てよかった」というお客さんの言葉に、素直に嬉しいと笑顔を見せる阿部さん。「いつでもみんなが来られるような場所を作りたい」という思いは、カフェを始めようと思った頃から変わっていない。

えとせとらでは、カフェで定期的に映画の上映を行う et cinema (えとしねま)、新潟産業大学や新潟工科大学の先生がミニ講義を行い地元の人たちと交流する「キャンパスカフェ」。どなたでも参加OKの「みんなの食堂」など、様々な人たちとの交流を支えるイベントや企画を多くの仲間たちと行ってきた。しかし、コロナ禍で今はすべての企画が止まったまま。先の見通せない状況が続いている。

それでも阿部さんは「いろいろな世代の人たちが『みんなの食堂』で一緒にご飯を食べて、ふだん出会わない人と会話が弾んだり、おばあちゃんたちが久しぶりに赤ちゃんを見たわ、と喜んでくれたり。忙しい母親が子供たちの遊ぶ様子を眺めながらママ同士がくつろいで一緒にご飯を食べる」、そんな人々の穏やかな時間の続きを、またいつかえとせとらで始めたいと考えている。



お問い合わせ

et cetera

柏崎市北半田1丁目6-35
TEL・FAX 0257-21-8558
営時 11:00~18:00
休 水・日



WEB